# 第3回「高円宮記念日韓交流基金」顕彰式典 〜地道な草の根活動から広がる友好の輪〜

交流支援部交流親善課

#### 1 東京・韓国文化院で顕彰式典

2011年12月13日、第3回「高円宮記念日韓交流基金※」顕彰式典が高円宮 妃殿下を迎えて韓国文化院(東京都新宿区)で行われました。この式典は2009(平成21)年度から実施されており、毎年、日韓両国の教育、文化、スポーツの分野で青少年の草の根交流に尽力した個人や団体が表彰されています。

クレアでは各自治体に候補者推薦を依頼するなどのお手伝いを行いました。

※「高円宮記念日韓交流基金」は、日本と韓国の友好に尽力された高円宮殿下を記念し、青少年交流などの顕彰等を通じて、未来志向的な日韓関係を構築することを目的に 2008 年 12 月に設立された財団法人です(名誉総裁:高円宮妃殿下)。

### 2 地道な日韓交流活動を高く評価

各団体から推薦された中から、今年は下記の高円宮賞4件、奨励賞1件が選ばれ、 高円宮妃殿下からそれぞれ表彰状と副賞が授与されました。

高円宮妃殿下からは「地道な草の根活動によって、日本と韓国の方々の出会いの場が広がり、友好の輪が次第に大きくなっていくことを心から願っています」とのおことばがありました。



高円宮妃殿下のおことば



受賞者のみなさん

## 【高円宮賞】

交流事業の名称(分野)	日本一大楠どんと秋まつり(文化)
受賞グループ(代表者)	日本一大楠どんと秋まつり実行委員会(実行委員長 田中久嗣)
地域活動(活動年数)	鹿児島県 姶良市蒲生町(17年)
活動内容	地元のシンボルである
	日本一の大楠に因んで
	開催される秋まつりに
	韓国の学生を招待して、
	楽器演奏やホームステ
	イで交流を図る。日本か
	らも韓国に小学生等を ~日韓の太鼓競演~
	「ふれあい旅」として派遣している。
推薦者等の評価	地元住民が一体となった活動で、それぞれの文化を市民レベル
	で理解し、地域に根を下ろした地道な活動が定着している。ボ
	ランティアに支えられた草の根交流の典型である。

交流事業の名称(分野)	日韓学生相互理解交流事業-アジア・カレッジ(教育、文化)
受賞グループ(代表者)	慶南青年カレッジ実行委員会(実行委員長 中野智昭)
地域活動(活動年数)	山口県、広島県、慶尚南道、釜山、蔚山、慶州(20年)
活動内容	山口県と韓国の慶尚南道の姉妹縁組を契機に、両地域の大学生
	が相互に訪問し、体験学習・討論会・伝統文化体験・平和体験
	等のフィールドワーク・清掃等の環境活動など、多彩な活動を
	行っている。
推薦者等の評価	学生を中心とする参加者が企画から運営までを手掛ける自主
	的・主体的な活動であり、その取組みは非常に充実している。
	事前準備に充分な時間をかけて練り上げたプログラムである。

交流事業の名称(分野)	姉妹校ホームステイ団交換交流事業(教育、文化)
受賞グループ(代表者)	熊本中央高等学校(校長 工藤勇参)
地域活動(活動年数)	熊本県、韓国論山(28年)
活動内容	熊本県と韓国忠清南道
	の姉妹関係を背景に熊
	本中央高校と論山女子
	商業高校とのホームス
	テイを中心とした交流
	活動で、修学旅行時も論
	山市を訪問して交流会
	を開催し、文化祭に参加する。
推薦者等の評価	20年以上に亘り姉妹校との交流活動を継続し、ホームステイ等
	により生活・習慣・文化に触れて相互理解を高めている。様々
	な趣向の交流会によって家庭的な交流関係を築きあげている。

交流事業の名称(分野)	日韓両国学校間相互交流事業(教育、文化、スポーツ)
受賞グループ(代表者)	韓国 嚴 圭白 氏 (個人)
地域活動(活動年数)	韓国ソウル市、日本各地(37年)
活動内容	祖父が設立した学校法人・養正義塾を中心に、細田学園・天理高
	校・昴学園高校他と教育・文化・スポーツ全般に亘る交流を長期
	に亘って積極的に推進している。多彩な交流で異文化への接触機
	会を提供。
推薦者等の評価	個人として校長として、長期に亘り日本各地の高校との交流を継
	続展開し、活動の範囲を発展・拡大してきた。日韓の青少年交流
	の草分けとして多くの人材を育成し、相互理解を増進。

## 【奨励賞】

交流事業の名称(分野)	日韓伝統文化交流事業(文化)
受賞グループ(代表者)	八幡獅子太鼓保存会(会長 杉本孝司)
地域活動(活動年数)	徳島県三好市、韓国晋州市他(10年)
活動内容	徳島県三好市の八幡
	獅子太鼓保存会と韓
	国慶尚南道の伝統民
	俗保存会との交流で、
	相互に訪問してそれ
	ぞれの伝統文化を披
	露する。幼時から大人
	まで含めた交流を山 ~児童に韓国舞踊を指導~
	間部の限界集落で展開している。
推薦者等の評価	完全な民間交流で、伝統文化の継承を目指して密接な交流を継続
	している。人口が減少する中で、幼時から大人まで参加する地域
	密着型の活動で、厳しい環境を乗り越えてやっている。

